

MARUMO LIGHTING NEWS

1月1日発行 年4回発行

商業劇場や市民ホールにおける舞台照明の地位は、数年前まで舞台サイドの狭い場所の照明室で操作していたものが、現在多くの劇場は観客席後部中央に設けられた照明室でおこなわれるようになったことをみても、舞台照明の必要性が認識されてきたといえます。

一方学校演劇、職場演劇を含むアマチュア演劇において、舞台照明があまり知られていないように思われます。

メーカーとして舞台照明をもう少し啓蒙する必要を感じられます。

そこで本号から記事の内容をマルモの新製品の紹介と共に、学校、職場演劇にたずさわる皆様の参考になる記事をおりこんでいきたいと思えます。

本号は舞台照明におけるカラーフィルターの使い方と、簡単に作ることのできる配電盤について特集しました。



ご あ い さ つ

取締役社長 丸茂尚治

輝やかなしい昭和44年の新春を迎え、謹んで御慶びを申し上げます。

皆様には、本年も数々の新しい御計画、御構想をもって、新年を迎えられたこと、存じます。弊社に於きましても社員一同、今年目標に向い張切って新年を迎えました。どうぞ本年も相変りませず御愛顧の程、御願い申し上げます。

扱、私共はかねてより、学校・及びアマチュア演劇の皆様に、当丸茂電機が過去50年、舞台照明の専門メーカーとして歩んでまいりました。経験と知識を活用して御役に立ちたいと考え続けておりましたが、昨年8月から9月にかけて、その具体的な第一歩として、さ、やかな御案内と、今後の指標につき、アンケートを御願い申し上げましたところ、私共の当初の予想をはるかに上まわる、各方面の多数の皆様から、御熱心な御解答をいただきました。社員一同心から喜ぶと共に、その御期待の大きさに改めて責任の重大さを認識させられました次第でございます。加えてその際、弊社製品を多数御注文、御買上げくださり本当にありがとうございます。紙上にて失礼とは存じますが御礼申し上げます。

さて本年は、皆様の貴重な御意見を拝聴いたしました結果、私共では、目標を、「舞台照明を成長させること」におくこと、致しました。「舞台照明の成長」とは皆様の演劇活動の成長と、もに、要求される場所の「照明」を造りうるよう、種々照明器機を順次計画的に整備して、一年々々、一歩々々充実したものにしていく(レイアウト)したい、ということです。これは一見、ごくあたり前のことのようにですが、私共では、「増設」を仰せつかったとき、前回までの設備が全く役に立たず、改めて新設し直すという事態にしばしば遭遇した経験がございます。これなどは、「成長」を全く考えずに計画設備した典型的な例で、それが又意外に多いということなのです。

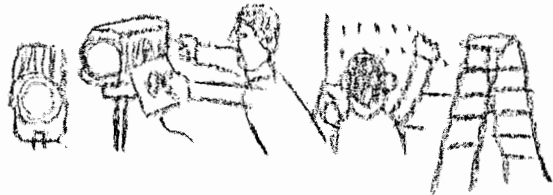
そこで私共は、皆様の貴重な御予算を最大限に活用できますよう、段階的成長の青写真を完備して、次々に成長していく器機設備が常にその時点でベストコンディションで使用目的に合致した形にて御求めいただきますよう努力いたす心積でございます。

そのため弊社では営業担当社員のみならず社員全体が、常に皆様の ご相談相手としてご満足がいた けますよう心掛けて居ります。

どうぞ、単に照明だけでなく、演劇に関することでありましたら、なんなりと、御相談下さい。皆様の文化活動の一助となり得ますれば幸いと存じますので宜致く御下命下さいますようお願い申し上げます。

「わたしとマルモ」

武内昭二



「丈夫で長持ちすんね」と、よく人から言われます。

北海道は、長い冬を過ぎライラックの花が咲く頃になると、催しものが急激にふえます。われわれは殆んど一睡もしない日が続くほど忙しくなります。何年もこんなことを続けていますが、まだまだ身体の方は大丈夫です。私のところの照明器具のうち、古いのはもう十数年にもなりますが、ホールに設備されてあるものに較べて消耗度が高いはずなのによく長持ちするものだなと思います。

北海道内をまわりますと、いろいろなメーカーの照明器具におめにかかります。種々雑多の規格で、中には全くひどいものもあります。ホールの設備にしても五つも六つもの種類のコンセントをつけるメーカーもあります。それが最近ではTV

スタジオや公会堂の設備や器具が、殆んど丸茂電機の方式に統一されているようで、使用者にとって嬉しい限りです。

各メーカーの同じ種類の照明器具を並べてみました。デザインのいいものを選んでみますと、不思議に性能が優れています。やはり現物を手にとってみたいとわかりません。何かのCMめきますが、永い歴史を持つ丸茂電機の照明器具はデザイン、性能共に優れております。意地悪な言い方ですが、よそになれば、われわれの丸茂の器具が自慢できるんだがなあ、なんて思うほどです。しかし、地方の公会堂や学校の講堂で丸茂の照明器具に出会うと、非常に懐かしさをおぼえ、その人の賢明さに拍手を送りたくなります。

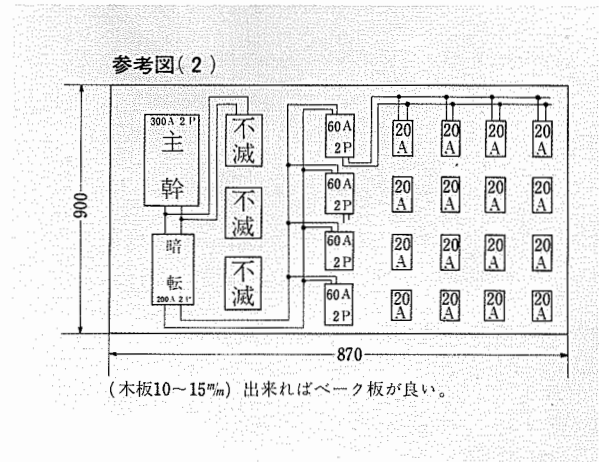
(舞台美術家 北海道舞台照明協会々長)

簡単につくることができる 配電盤

配電盤とは負荷を便利に区分して電気の入切のできるスイッチの配列を整然とするのが主たる目的です。

舞台照明の配電盤が一般の配電盤と異なる要素は、使用目的が色に支配されるか、負荷の場所に支配されるかの違いがあります。

舞台照明の配電盤の組方の基礎としては、まず主幹(受電スイッチ)がもちろん必要です。次に照明操作上大切なことは暗転スイッチを入れることです。それから、色別の主幹スイッチ・コンセント主幹スイッチを経由して各負荷スイッチを取付けます。以上は調光なしの単なる入、切の配電盤形式のものです。(参考図)



配電盤の作り方

フットライト、ボーダーライト、 Horizontライト (アッパー・ロア)は一応3色配線としました。

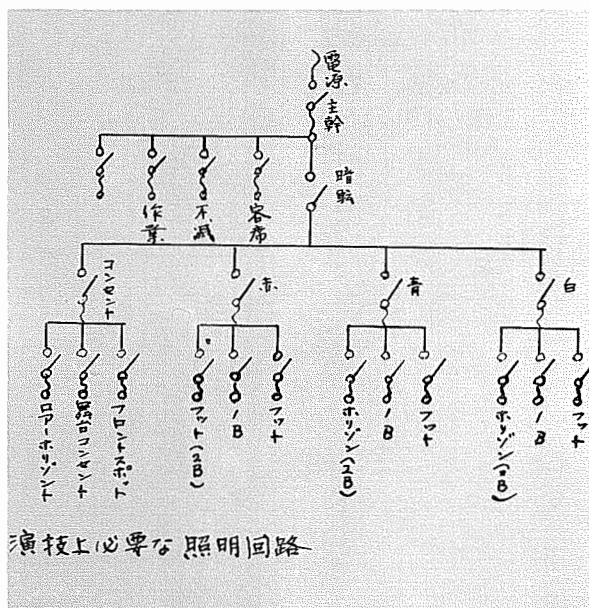
1灯の容量が60Wその他は100W~200Wが基本負荷容量です。

フットライトの白系統の総容量は1.8mに付いて4灯(1区画150mmピッチ)ですから240Wになり、9mの間口の舞台でしたらこの5倍1,200Wになります。

ボーダーライトは1灯を100Wにした場合1.8m白系統は3灯(1区画200mmピッチ)ですから、300W9mの間口の舞台ですと5倍15灯になり1,500Wになります。

スロントサイドスポット、舞台サイドスポット又は仕込スポット(効果をねらうもの)等は、各コンセント各回路として色系統には支配されません。負荷容量は1灯につき500W又は1,000Wが必要です。

使用材料開閉器は、カバースイッチを負荷の容量に合わせて使用します。取付板は絶縁の良い乾燥した10mm以上のものを用意し、板内接続の電線は上質なものをを用い、容量に適合し充分に余裕をもつことが必要です。(参考図)



		単価
カバーSW	300A 2P	6,650
	60A 2p	560
	20A 2P	315
ベーク板	10t × 1m × 1m	7,000

参考設計

1. 間口	9m	
奥行	5.4m	
2. フットライト	1.2kw × 3色	3.6kw
第1ボーダー	1.3kw × 3色	4.5kw
第2 "	1.5kw × 3色	4.5kw
Horizont(ロアー)	1.5kw × 3色	4.5kw
舞台コンセント	0.5kw × 2色	2kw
フロント	1kw(2台) × 2色	4kw
設備総要量		23.1kw



舞台照明における カラーフィルターの使い方

若尾正也

★スポット等の色は、ボーダー等（地あかり）の色より一段薄い色を使うのが常識です。

★夜の地あかりには#75#77等がよいでしょう。

★その中で月光等が必要ならスポットに、#77#78#79等を、時には#65#64を使います。

★夜、電灯のついた室内には、#33#35を、時によっては#38をつかいます。

#33を使うと、顔が黄色くなりやすい。

#38は少し紅がかって甘くなる。

共に地あかりに#75か#77の青が一パイほしい。

時には#45、#46の薄い黄色を使ってもよいがメーキャップや衣裳が黄色っぽくなることに充分気をつけること。

★夜の水平線は、ボーダーと同じく#75#77を。特に明るい月夜なら、下部水平線の方を一段明るい色に（例えば上部水平線を#77にしたら下部は#78等）

★夕日の水平線は下部水平線に#33#35#38が使えます。常識的には#33がよいでしょう。

下部水平線が2回路で、しかも昼の場も夜の場もあるときは、白(ナマ)と青(#77位)が常識で、白の電圧を加減して夕方の表現が出来ます。

★上部水平線に強いてアンバー（30番代）を使う必要はありません。

★夕日の当たっている感じは、ステージサイドやフロントサイドのスポットに、#33#35#37#38をつかいます（必ず片光線で）

明るい夕日は#33。

夜につづく夕日は、#35が無難。

#37、#38は少し甘くなり、影の部分に#87の紫を使ったりすると、ムードのある美しさも出ます。

★夕日のとき、必ず逆の側には、青又は紫系統の色をつかうこと、地あかりに必ず青が混っていることが必要です。

★朝日の光は#45、#46等で出せますが、無理に色を使わないで白(ナマ)でもやれます。

★夜明けの空には、下部、上部の水平線に#63や#64を混ぜてゆくのもよい方法です。

★青い舞台の中で、人物を追う場合等に白く見せたいときは、フォロー用のスポットに#64や#79をつかいます。

★ピンクや赤や緑は、舞踊等の外、普通の劇には出来るだけ、避けた方が無難です。

どうしても欲しいとき、ピンクは#16位、グリーンは#65、やむを得ないときは#62#63等。

★極端に強い色調の色の欲しいときは、赤#24、緑#58、青緑#63、黄#41等あります。が、色の濃いものは当然、透過度が悪く、暗く、汚くなりやすいものです。

★カラーフィルターの色は、蛍光灯や日中の太陽光線で見ないこと。スポットにかけた色と全く違って見えるものです。必ず、白熱電灯の光で見て確かめること。

又電灯の光で見ても、スポットで投光された光の色と多少の相違があります。スカして見て綺麗だからといって案外使ってみると、そういかないことがあります。

★沢山あるフィルターの中で自分の使う色をきめて、よく使いこなすことが照明家の大切な一つの仕事です。三原色でどんな色でも出来る筈ですから。丁度画家のパレットの様に一人の照明家のカラーフィルターは決めてゆきます。

★普通に使ったらよい番号を列記して見ましょう。

- ピンク——# 16
- 赤 ——# 22、# 24
- 橙 ——# 33、# 35、# 38
- 黄 ——# 41、# 45、# 46
- 緑 ——# 54、# 58
- 青・緑——# 63、# 64、# 65
- 青 ——# 75、# 77、# 78、# 79
- 紫 ——# 87

★最後に劇の中で、色で感情を表現しようとすると失敗することが多いことを覚えておきたいものです。

(照明家・若尾舞台総合研究所所長)



● 照明器具のいろいろ

TH型 1,000W スポットライト

型番 1067
 レンズ フラノコンベックス 152mm D 254mm F
 電球 G-125 E-39 1,000W
 重量 4 kg

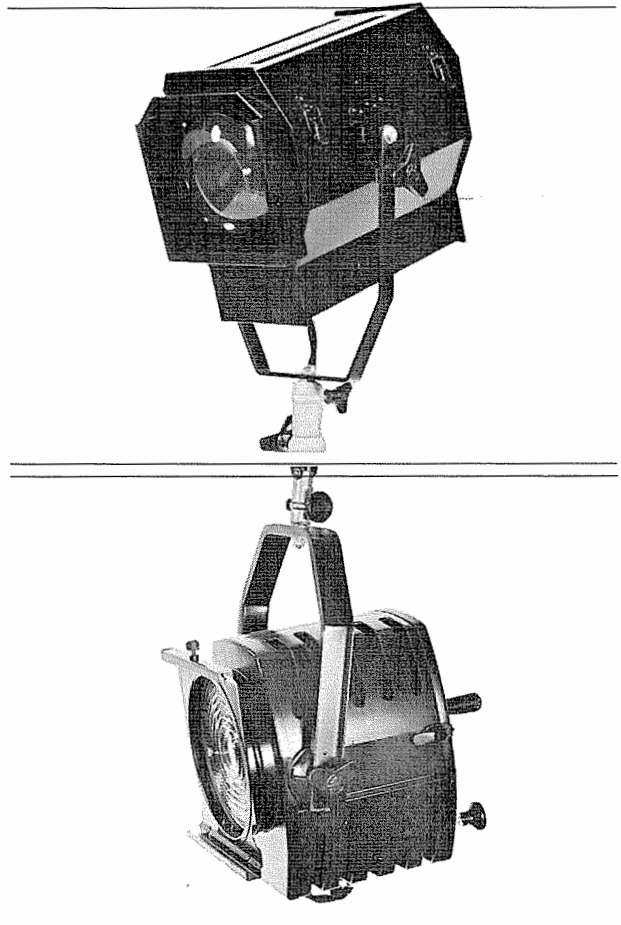
シーリングライト、フロントサイドライトや限られたスペースの吊下げなどに軽くて簡単な調整によって使用することのできるスポットライトです。

MS型 1,000W スポットライト

型番 5563
 レンズ 203mm D 120mm F フレネル
 電球 G-125 E-39 1,000W
 重量 6.3 kg

フレネル・レンズを使用した標準型スポットライトです。投光面の中心が最も明るく周囲にゆくに從ってソフトフォーカスになり、比較的広範囲に投光することができます。

フロントサイドライトや比較的投光距離の短いシーリングライトなどの投光角度の大きいもの、サスペンションライトなどの舞台上部からの投光などに適しております。



御園座 (名古屋市中区栄1-6-14)

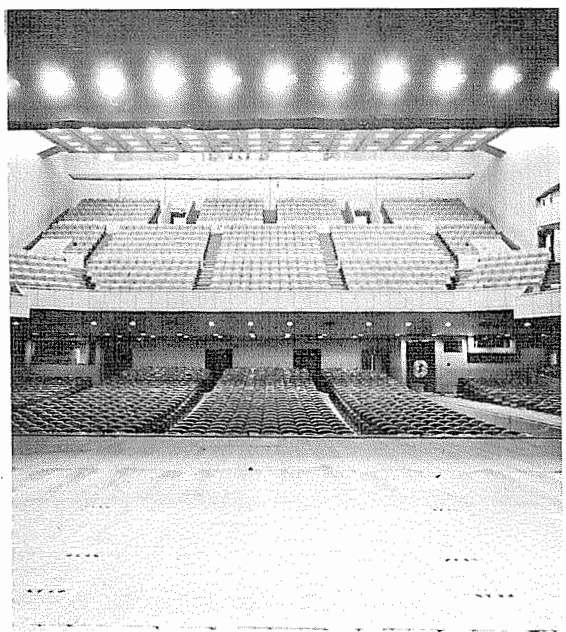
津市生れの映画監督小津安二郎の伝記の中に、御園座に駒田好洋一座がかかると学校を休んで観に行ったものだということが書かれています。

明治30年歌舞伎小屋として開場され中京地方最古の劇場です。戦災、昭和36年不慮の災禍、そして多目的劇場として装をあらたに昭和38年現在の御園座が誕生しました。

中京演劇界の殿堂としてふさわしい舞台照明設備は、マルモUM型調光装置、操作把手盤、照明配電盤、照明器具など演出効果をあげるに充分なものです。

中京演劇界恒例の歌舞伎顔見世・松竹新喜劇・美空ひばり・長谷川一夫・三波春夫公演などが名物となっております。

(照明チーフ 宮田憲一氏)



使ってみませんか? CEF型スポットライト

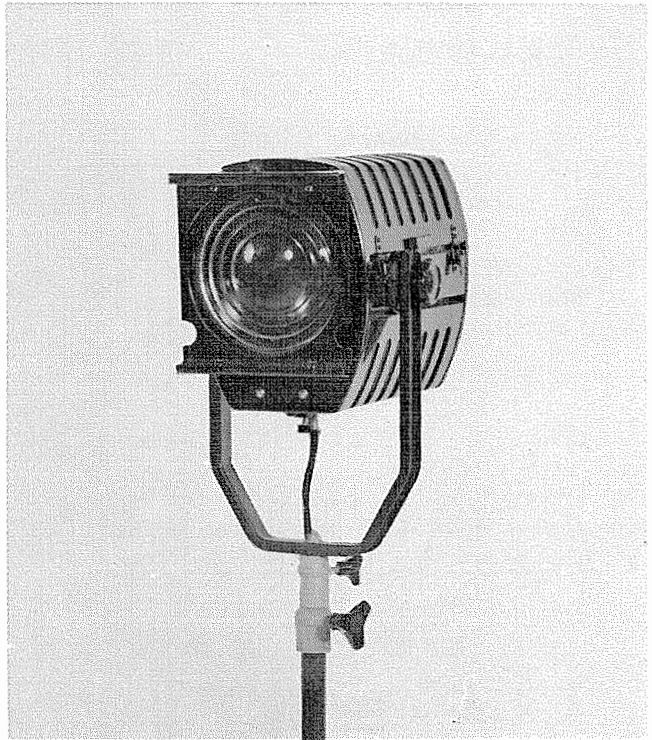
CEF型は203耗(8インチ)レンズを使用した1,000Wの標準型スポットライトです。

レンズはフラノ・コンベックス・レンズを使用したCEC型はレンズの性格上どうしても投光面の真中がやや暗くなることや分光(投光面の端に赤や青の屈折光)ができる等の弊害があります。

CEF型はこれらの欠点を解消し明るくむらの無い軟かい投光がえられます。

又軽量であり、価格が安い等の利点があります。サスペンションライト・シーリングライト・フロントサイド・スポットライトなどに適しております。

型番	425I	
レンズ	ロング、フォーカス、フレネル、 203mm、254mm F	
電球	G-125 E-39 1,000W	
重量	7.4kg	単価
価格	CEF型 1,000W	14,000
	1,000Wスタンド	4,500
	電球G-125 1,000W	800



ここにもマルモが……

「新制作座の巻」

「青春」「野盗風の中を走る」「泥かぶら」みなさまも1度は、ご覧になったことでしょうか。なかには、この芝居をみて、演劇をやってやろうという衝動にかりたてられ、演劇の虜になられたかたもいらっしゃるでしょう。

演劇を通じて、地方文化の進歩と発展に寄与している『新制作座』のことは、みなさまの方が、よくご存知の事と思います。

現在も日本全国くまなく、そして遠く海外にまで、三班に分れて、巡業公演して居ります。

舞台条件としては、決して満足でないところ

での、上演が多いのですが、演劇に対する“情熱”と努力で、大劇場での舞台にもまさるとも、おとらぬ立派な舞台を創りだしております。

これらの困難な条件のもとで、演劇行為の中での照明の役割を満足に集するためには、携帯に便利で、取扱が簡単、その上、充分の効果を発揮する。

T-1型 500W スポット

D F 型 500W スポット

N u c 型 200W フラッド

(マルモライティングニュース10月1日号6P参照)

や、エフェクト・マシンなど、多くの効果器などが活躍しております。

又、稽古場での舞台照明設備も、丸茂電機株式会社の施工によるものです。

劇場技術用語解説

●シャープエッジスポットライト

フラノコンベックスレンズ（平凸レンズ）と随円反射を用い、投光面の周囲がぼやけた円ではなくピントの合ったシャープの円がでます。人物のフォローなどに使用します。マルモERQ—1,000Wは沃素ランプを使用したシャープエッジスポットライトです。

*

●かみて、しもて

観客席から向って右手がかみて(上手) 反対に左手がしもて(下手)といひます。

*

●すのこ(簀ノ子)

舞台の上の天井で、すのこばりになっているところぶどう棚ともいひます。ここに吊物のワイヤーを受ける滑車や簀ノ子上で配管配線された回路と舞台上に吊下げられた器具を接続する、ジョイントボックス(接続端子函)など設置します。



編集後記

▲10月1日号マルモライティングニュースにつきまして、多くの皆様からお便りを頂きました。厚くお礼申し上げます。

▲本号に掲載しました舞台照明におけるカラーフィルターの使用方につきまして若尾総合舞台研究所所長若尾正也先生にお多忙中にもかかわらず本号のために執筆して頂きました。お、いに参考になることと思ひます。

▲舞台照明に関する文献についてのお問い合わせがありましたので現在発行されているものをお知らせします。現在発行されているものは未来社発行、穴沢喜美男著「舞台照明の仕事」オーム社、大庭三郎著、「舞台照明の実際」

▲皆様と照明家と編集者を結ぶ「スリーサム」欄を設けたいと思ひます。読者のページです。読者から編集者への注文舞台照明に関することならどんなことでも結構です。ご投稿をお待ちしております。

宛先 東京都千代田区神田須田町1-24

丸茂電機株式会社営業部

マルモ・ライティングニュース編集係

舞台照明設備及び附滞工事の計画がございましたら担当者まで平面図及び断面図をお送り下されば貴校に適した照明プランご予算及び必要電源容量などお知らせします。

●お問い合わせご商談は

東京営業所 東京都千代田区神田須田町1-24

名古屋営業所 TEL(03)(252)0321代

名古屋営業所 名古屋市中区新栄町中日ビル内
TEL(052)(261)1111(425)

大阪営業所 大阪市北区神山町32
TEL(06)(312)1913

●取扱店

北電力設備工事(株) 札幌市南2条西12丁目
TEL(0122)(24)3911

(株)東京舞台照明 東京都渋谷区原宿3-300
TEL(03)(404)2611

若尾舞台総合研究所 名古屋市中区西新町2-8
TEL(052)(241)5552

福岡市民会館サービスセンター
福岡市天神5-1-23
TEL(092)(75)6474

後記

照明のテクニックに関するものや照明設備についてのご質問がございましたらマルモまでお寄せ下さい。照明の専門家やマルモの技術員がお答えします。

発行 丸茂電機株式会社

東京都千代田区神田須田町1-24

編集責任者 井上利彦

製作 出牛亘

デザイン・レイアウト

(不許・複製)